



「新たな事業を収益性の柱として育成する」と山田社長

ニイチロ山田 彰男代表取締役社長

前期の概況、また今期の見通しをおきかせ下さい。
2020年度はコロナ禍の中、当社の畜産事業である卸売事業については大きな打撃を受け、とくに昨年春ごろは厳しい状況でした。一方で集乳も必要もあり、シヨップ

プチャネルでの通販事業は前年度比170%と引き続き大きく伸びました。通販事業は比較的収益も高く、卸売の不振をカバーした形です。
ただ、今後もホテルやレストランなどが以前のようには回復するとは非

常には回復するとは非常に難しいでしょう。
7割程度は回復してはいるが、とくにファミリーレストラン業態(以下F)は不振です。外食加

工の売り上げは、15年前のころに比べて割がた向いてはいますが、現在は割まで減少。その分、現在は経営が苦しい状態

に陥っています。
今期も全体ではある程度業や販路はありますが、シヨッププチャネルの

見込みですが、卸売は苦戦が予想されます。当社ひいては、この4月以降は少し様変わりし

てきました。当社は年の初めに衛生対策は同業で

てきました。
また、卸売へのニーズが非常に強く、薄せんかレンジ対応可能な加工

石垣牛を一貫生産 加工商品の提案を強化

「石垣牛」の販流協議会を設立。百貨店、量販店、通販事業者、外食などの代表者が参加しており、相談役は石垣市の中山隆徳市長に就任していたと発表

た。首都圏をはじめ、全道への「石垣牛」の消費拡大を図ります。
また、観光客減少などで県内の販売が落ち込んでいる中、この3月には

「とくに注力する事」
また、卸売へのニーズが非常に強く、薄せんかレンジ対応可能な加工

製品が売れ筋です。当社やビーフシチューなどの販売はしていますが、昨

年は前年比3倍の売り上げた加工商品は一部を除き、ほとんど

を業務提携先の備前市・コンパニオン工場で生産

「石垣牛」の販流協議会を設立。百貨店、量販店、通販事業者、外食などの代表者が参加しており、相談役は石垣市の中山隆徳市長に就任していたと発表

た。首都圏をはじめ、全道への「石垣牛」の消費拡大を図ります。
また、観光客減少などで県内の販売が落ち込んでいる中、この3月には

「石垣牛」の販流協議会を設立。百貨店、量販店、通販事業者、外食などの代表者が参加しており、相談役は石垣市の中山隆徳市長に就任していたと発表

た。首都圏をはじめ、全道への「石垣牛」の消費拡大を図ります。
また、観光客減少などで県内の販売が落ち込んでいる中、この3月には